

地域密着サービス 運営推進会議 報告書

施設名：直江の家

施設種類：グループホーム ・ 小規模多機能居宅介護施設

日時：令和7年3月27日（木）13:30～14:20

会場：有料老人ホーム「直江ホーム」ホール

出席者：

利用者代表	0人	出雲市職員	1人
利用者家族	1人	あんしん支援センター職員	1人
地区民生委員	0人	コミセンセンター長	1人
地域代表	1人	施設職員	3人
広域協力員	0人	アドバイザー	0人

《 議 題 》

1. 1月・2月の行事

1/1 お茶会

利用者様（男性、女性1名ずつ）に薄茶を立てていただき干支のお饅頭と
いっしょにお茶会をしました。（直江の家だより参照）

1/2 絵馬作り

ご利用者様に今年の漢字一文字を選んで書いてもらい周りにお正月風の飾
りを付けてオリジナルの絵馬を作りました。（直江の家だより参照）

2/3 節分

鬼に扮した職員めがけてご利用者様が新聞紙を丸めて作った大きな豆を投
げて鬼退治しました。おやつにはかわいいお饅頭と豆の代わりにのぼー口を
食べて節分気分を味わっていただきました。（直江の家だより参照）

2/9 梅の木作り

直江の家だより参照。毎回職員が工夫を凝らしてレクの内容を考えて、行
っています。

2. 職員スキルアップ研修

1/15 社内研修「感染症について」

県中から講師を招いて高齢者施設で注意すべき感染症と対策について学びま

した。防護服の着脱については順番が大事であり、発生時の対応についてはレッド、イエロー、グリーンとゾーニングして感染症を蔓延させないことが大事だと学びました。

1/18 社内研修「メンタルヘルスについて」

ストレスの対処法、ストレスパターンのチェック自己分析することでストレス軽減できることを学びました。介護は肉体労働ではなく感情労働でありストレスが溜まりやすい。

2/25～26 認知症対応型サービス事業管理者研修 1名

3. ヒヤリハット、事故報告

2/15 インスリン注射の単位間違い

日頃、単位数を看護師が合わせて自己注射している。当日は看護師が不在で介護士が対応。ご本人 2/8 に退院されて単位数が変更になっていた。担当介護士は変更になっていることを失念し元の単位数を合わせて本人に渡した。

（市役所から質問）その後の経過は？

→本人の体調は変わらず。今後はいつもと違う者が対応するときは単位数を確認してから本人に渡す。

4. 利用状況

新規登録	1月	0名	2月	2名
登録終了	1月	2名	2月	0名

介護度別男女比

	1月			2月		
	男	女	計	男	女	計
要支援1	0	1	1	0	0	0
要介護1	1	2	3	1	1	2
要介護2	5	3	8	5	5	10
要介護3	1	2	3	1	3	4
要介護4	1	3	4	1	3	4
要介護5	1	3	4	0	3	3
申請中	0	0	0	0	0	0
合計	9	14	23	9	15	23
平均	2.56	2.93	2.78	2.25	3.36	2.83

地域別利用状況

	男性	女性	合計
斐川地区	5	11	16
旧出雲市	2	4	6
平田地区	1	0	1
上記以外の 出雲地区	0	0	0
合計	8	15	23

平均年齢

男性 84.38 歳

女性 88.40 歳

男女 87.0 歳

サービス利用状況

サービス内容	月	延べ人数	1 人平均利用回数
通 い	1 月	210	10.5
	2 月	215	10.2
訪 問	1 月	2148	107.4
	2 月	1896	90.3
泊 り	1 月	27	1.4
	2 月	40	1.9

5. その他意見交換

社長挨拶：10 日前は雪が降ったかと思うと昨日は夏日で変動の激しい天候に体調を合わせるのが大変ですが、桜や菜の花が咲く便りを聞くと春を感じます。もう少し温かくなったらまた皆様を連れてお花見に行きたいと思っております。本日もよろしくお願いいたします。

6. 「令和 6 年度サービス評価」結果報告

総括表参照